

ハッカーが狙っている(ウィンドウズ 7 サポート終了)

2019 年 10 月 11 日

By ミケパパ

(本文は、パソコンの OS として「現在まだウィンドウズ 7 を使っている方」及び「ウィンドウズ 7 からウィンドウズ 10 に過去にアップグレードされた方」が対象です。購入時に既にウィンドウズ 10 がプレインストールされていた方は、読む必要はありません)

マイクロソフトの発表では、ウィンドウズ-7 は **2020 年 1 月 14 日**にて「延長サポート終了」となります。何が起きるのか？ 対策は何か？ につきまして述べてみます。

1. 何が起きるのか？

悪意のあるハッカーは、インターネットを通じて、貴方のパソコンの防御の弱いところ(脆弱性)に侵入しようと試みます。サポート期間中は、次々に発見されるこれらの脆弱性部分に、マイクロソフトが修正プログラムを提供しているのですが、サポート終了後は何もしません。もしか新しい脆弱性が判明しても、防御しておりませんので、「侵入され放題」。貴方の個人情報抜き取られて銀行からいつの間にか貯金が引き出されたり、ウイルスを感染させられて「身代金」を要求されるかも。もっと悪いのは、貴方のパソコンを踏み台にして、お友達のパソコンにウイルスをばらまくかもしれません。

2. ウィルス対策ソフトは有効か？

「ウィルス対策ソフトがあるから大丈夫」という方がいますが、これはとんでもないこと。あるサイトの記事によりますと「ウィンドウズに欠陥があるということは、皮袋に大きな穴が開いているようなもの。ウィルス対策ソフトは外部のソフトなので、とてもカバーできない」と。

各社、サポート終了後も一応 2 年くらいは「ウィンドウズ 7 用」の対応を継続するとは表明していますが、あくまで「感染リスクの軽減」だそうにして、「責任は持たない」ということのようにです。

3. ウィンドウズ-10 へのアップグレード

対策として「ウィンドウズ-10 にアップグレード」すればよい」と言っている方がいらっしゃいます。ですがこれは

1) パソコンによっては、アップグレードできないものがある

例えば、私の学習グループで使っておりましたウィンドウズ-7(W7)パソコン(富士通、Lifebook シリーズ)は、「グラフィック XXX がありません」というメッセージが出て、アップグレードができませんでした。調べてみますと、各社とも、比較的古い機種種の W7 パソコンはシステム要件が足りず、アップグレードができないんだとか。例えば富士通の下記のサイトには、アップグレードできる機種が表示されており、これ以外の機種は「アップグレード不可」だそうです。

→[富士通の W10 へのアップグレード対象機種](#)

ウィンドウズ 10 が 2015 年に販売開始された当初は、マイクロソフトよりウィンドウズ 7 や 8.1 を使っているパソコンのユーザー宛に「無償アップグレードのご案内」が来たはずですが。多くの方は、その際に「無償で」W10 へのアップグレードを済まされたのではないのでしょうか？ その時期に「ご案内」の来なかった方のパソコンは、本来「アップグレード対象外」だった可能性が大です。各メーカーのウェブサイトにて、「アップグレード対象機種」を確認されることをお勧めします。

2) オフィス 2010 のサポート終了が近い

W7 パソコンを買われた時、プレインストールされていたオフィスは 2007 又は 2010 だったはずですが。2007 はすでにサポート期間が終了しており、2010 のサポート終了は **2020 年 10 月 14 日**で

す。つまり、2016 年ごろに、「無償で W7 から W10 にアップグレード」された方も、オフィス 2010 を使っている限り、来年 10 月までに何らかの対策を取らないといけません。

4. オフィス 2010 サポート終了後の対策

「ウィンドウズさえ更新しておけば、オフィスがサポート終了しても問題は起きない」という方がおられるようですが、私がネットで調べ、かつ元システム・エンジニアの会員に確認した限りでは、それはありえません。ハッカーの侵入を許す「脆弱性」は、オフィスにもあるからです。

世界的なセキュリティソフトメーカー、カスペルスキーの報告では、2018 年度のハッカーからの攻撃の 70%がマイクロソフト・オフィスの脆弱性を狙ったものだった」そうです。

<https://japan.zdnet.com/article/35135795/>

それ故、2020 年 10 月 14 日以降は、まだオフィス 2010 をお使いの方は

- 1) 2016,2019 などに入れ替える(～35,000 円)
- 2) Office 365 solo に入れ替える(～11,500 円／年)
- 3) パソコンを買い換える
- 4) Office online や Open office など、無料のオフィス代替品を利用する等の対策が必要です。

なお、パソコンを買い換えるとき、プレインストールされているオフィスは必ずしも最新の「2019」である必要はありません。「2016」も、「2019」もサポート終了は 2025 年 10 月 14 日です。

何故同じ日なのか？ マイクロソフトが「何か企んでいる」のでしょうか。

5. 「セキュリティ」は、まさかの時の為

私の知人にも、「大丈夫だろう」と言っている方がいらっしゃいます。しかしこれは、「ヘルメットや安全靴を身に付けずに工事現場を歩いている」ようなもの。確かに、物が落ちてこなければ怪我はしませんが、「落ちてきてもケガをしないように」するのがセキュリティ対策です。パソコンの場合は、むしろ「インフルエンザ対策として、ワクチンの接種を勧めるようなもの」といった方がよろしいのかも。感染しますと、本人も苦労しますが、周りに病気を広める、迷惑をかける恐れがあります。予防に努めましょう。

結論:

1. 現在まだウィンドウズ 7 をお使いの方は、当面ウィンドウズ 10 にアップグレードすればセキュリティ問題は防げます。ただし、アップグレードできない機種がありますのでご注意ください。
2. W7 から W10 にアップグレードされた方は、オフィス 2010 の延長サポート終了期限＝2020 年 10 月 14 日＝までに、何らかの対策を取る必要があります。準備しておきましょう。

以上